㈱清水合金製作所

技術本部開発設計部開発設計１課

竹内　僚佑さん

工学部機械工学科卒　入社３年目

一般弁設計から性能試験まで
社員の成長積極的にサポート

一般弁でトップシェア

清水合金製作所は昭和22年創業の水道用バルブメーカーである。滋賀県彦根市の地場産業として発展し、今年70周年の節目を迎えるに至った。

「当社は現在、国内９カ所に拠点を有し、社員数は約150人です。団塊の世代が大量退職した際、新入社員に置き換える形で積極的に採用活動を行った経緯もあり、若手から中堅社員が比較的多くなっています。主要製品は、全国の水道事業体に納入する仕切弁、バタフライ弁、補修弁、空気弁、消火栓などの一般弁で、売上高の約75％を占めます。これらの生産および検査台数（日本水道協会）は、国内トップシェアを誇ります」と紹介する。

同社では鋳造工程を行わず、調達した部品を組み立てるアッセンブリーに特化しており、高度な生産体制が要求される〝かんばん方式〟を導入している。「少量多品種生産が求められる近年の市場ニーズに対応できている点は大きな強み」と胸を張る。

日常業務に加え研究開発に挑戦

業務内容は「一般弁の設計業務を担当しています。普段は営業からの依頼を受け、要求される仕様に合わせて図面をＣＡＤで作成、設計します。作成した図面は他部署に配布し、部品構成の指示などで密接に連携する業務体制です」と説明。

さらに、前記の日常業務に加え、開発設計部の部員各々には研究開発テーマが与えられる。「自分が関わった製品に対する思い入れは特に強いです。試作品の性能試験は自ら行い、量産試験にも立ち会って完成まで見届けるので、発売後の売れ行きや評判がとても気になります（笑い）」。

また「開発スケジュールに沿って上司と進捗状況を確認し、繁忙期など遅れがちな時は課内外で日常業務を融通するなど、社員間で助け合いながら乗り切っています。こうしたチャレンジとスキルアップサポート体制により、一人ひとりの成長が促される仕組みです」と、充実したサポート体制について紹介する。

〝ものづくり〟への思い大切に

入社の経緯については「大学時代に製図や材料力学、熱力学、流体力学など、ものづくりの基礎を広く浅く学んだことが大きく影響しました。就職活動ではこの経験を活かしたいという思いが強く、地元の地場産業であるバルブメーカーの採用情報も調べました。当社には技術職の募集があり、就職説明会にも出席して企業情報を集めました。特に魅力的だと感じたのは、一般弁の市場シェアがトップである点です。自分が開発に携わった製品が世に出やすく、やり甲斐のある仕事ができると考えたわけです」と語り、現状について「当初の望み通りに仕事できています」とのこと。

入社3年目の現在、技能のさらなる向上を目指すとともに、水道関連メーカー社員としての社会的責任についても指摘する。「当社で取り扱う製品は普段、人目につかないため、その機能や社会的意義がわかり辛い面もありますが、とりわけ重要なライフラインを支える〝縁の下の力持ち〟です。こうした仕事に誇りを感じ、ものづくりの仕事に興味を持たれた学生さんには是非、門戸を叩いて頂きたいと思います」。

試作品の性能試験に立ち合い完成まで携わる

水道産業新聞（2017年2月27日付・5143号）